



ジャカラнда

Jacaranda

ナミビア・オマルル通信NO.24

2024.02.18

JICA海外協力隊

とよたももこ
豊田桃香

野生の動物がたくさんいる国ナミビア③

前回に引き続き、動物シリーズです。他にもたくさんいますが全ては紹介しきれないので、最後にしますね。



⑥ ダイカー

ナミビアに来てから初めて知った動物の1つです。この動物もシカとにているなど思ったのですが、前回のオリックス、インパラと同じくウシ科の動物らしいです。よくペアで行動しています。2〜3回見ましたが、いつも2人組でした。耳がぴんと立って、かわいらしく、頭に毛が少し生えているのが特ちょうです。食べ物から水分をとるので、水はのまなくても生きていけるそうです。雨の少ないナミビアでは、このような水分を飲まなくても生きていける動物が多いなと気づきました。

⑦ ヌー

ヌーはオランダ語やナミビアのアフリカンス語では、「ワイルドビースト」(野生のケモノ)と呼ばれます。

ナミビアのヌーには大きく2種類いることを知り、見分けられるようになりました。ブラックワイルドビーストはしっぽが白色、ブルーワイルドビーストはしっぽが黒色です。どうして反対なのだとは最初は混乱しましたが、今では覚えました。

ちなみに出会えなかったのですが、「ゴールデンワイルドビースト」という金色のヌーもいるそうです。いつか見てみたいです。



⑧ オットセイ

ナミビアには『オットセイの楽園』とよばれる場所があり、たくさんの野生のオットセイがすんでいます。かなり強れつなにおいがしますが、野生のオットセイを間近で見ることができ、特に赤ちゃんはとてかわいいです。子どもと大人では色も大きさも全然ちがいます。赤ちゃんが母オットセイのお乳をのんでいるすがたが見られました。

母オットセイは、子どものためにエサをとり、海に出かけることもあります。その間、お父さんオットセイはお世話をしないそうです。

(Netflixドキュメンタリー：ワイルドベイビーズ参照)



他にも⑨ワニについては世界日記#25、⑩ペンギンについては世界日記#29をよかったら読んでください。野生の動物がたくさんいるナミビア。どの動物に一番きょうみを持ちましたか？またぜひ教えてください。